

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成28年9月号

盛りあがった大運動会

去る9月10日(土)、さわやかな晴天のもと、葛川学区秋季大運動会が開催されました。朝早くから、多くの来賓の方、地域の方、そして保護者の方にお越しいただき、学校と地域が一体となって行う運動会が賑やかで、応援と拍手が途切れることなく、参加者の心に残るすばらしいものとなりました。

学校と地域が一緒になって運営する運動会は、大津市ではこの運動会だけです。練習を積み重ねて、その成果を見てもらう『学校の運動会』と、子どもからお年寄りまでが「楽しむ」ために参加する『地域の運動会』が、バランス良くとけ合って、会場にいる誰もが満足できる運動会が、葛川学区秋季大運動会です。

毎年、運動会のスローガンを小中学生で考えます。運動会の当日は、校舎にでかかたスローガンの垂れ幕がおろされ、スローガンを



を合い言葉に、全力を出し切る子どもたちの姿に、多くの人が感動をされます。ちなみに、今年のスローガンは

『K・S・K キセキ・勝利・感動』でした。

小学生17人、中学生10人と地域の人たちで行う運動会ですから、小中学生の出番がびっくりするくらい多いです。しかし、どの種目にも手抜きせず、頑張る子どもたちには、まわりからの大きな拍手が励みとなっていたに違いありません。

また、楽しむことと同時に、競争心を持って競技種



目を盛り上げる工夫として、『赤と白』の2つの団を作り、応援合戦を始め、綱取りゲーム、8の字なわとび、対抗リレーなどに臨みます。

へき地の学校の子どもたちは、競争心がなく、切磋琢磨する場面が見られないと言われたりしますが、この運動会を見る限り、それは違うのではないかと思います。少ない人数の中でも、工夫をこらし目的意識を持って主体的に係わることで、子どもたちに真剣さが生まれ、相手や自分との競争により自らを高めていけるわけです。

閉会式での子どもたちの涙が、地域の大人の人には、とても印象的だったようです。『こんな場面を見るのは初めてです。』とおっしゃる方もありました。



夏休みを3日間短くして練習に取りかかり、台風の影響を受けながらも、何とか当日に間に合った運動会でしたが、スローガンに励まされ、地域の人たちの温かい声援と拍手に支えられ、子どもたちは100%以上の力を出し切ったのではないのでしょうか。

最後になりましたが、準備や運営でご協力いただきました体育協会の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

